

第4回

稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

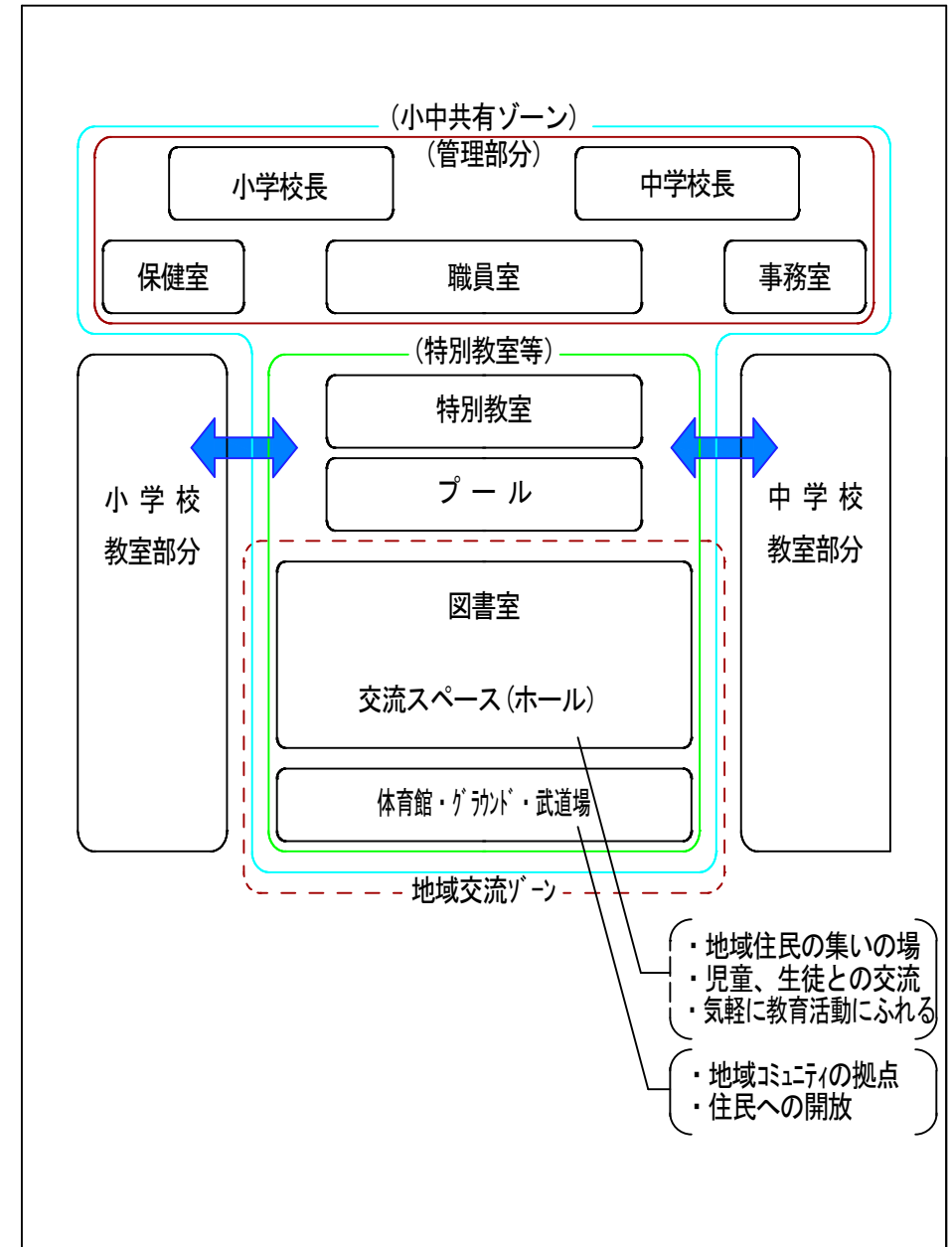
平成30年11月29日

□ 稲築中学校区の配置ゾーニング

〈配置ゾーニングの考え方〉

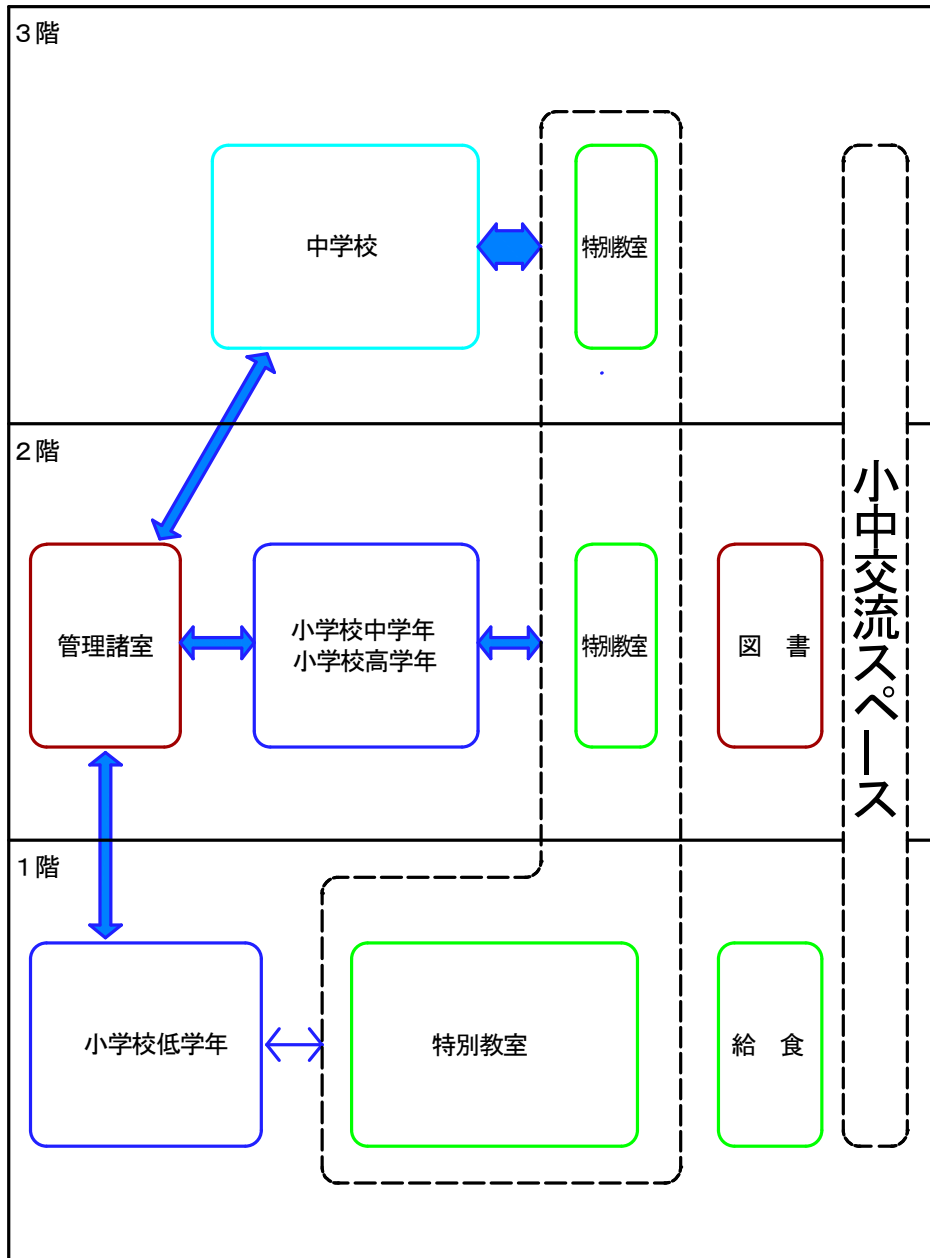
- 1 車両と歩行者を明確に分離する。
職員駐車場は、北側に集約する。
来客者車両は、南側に集約する。
- 2 1, 2階は、特別教室、小学校教室、管理諸室を集約する。
3階は、一部特別教室、中学教室を配置する。
- 3 グラウンドと既存施設エリア、社会体育エリア、生涯学習エリア、来客駐車場を集約し「地域交流ゾーン」を拡充する。
- 4 学校管理ゾーンと地域開放ゾーンを明確に分離する。
- 5 小・中学校の交流、連携の拠点となる異学年交流スペースを配置する。
- 6 特別教室、管理諸室を小・中で共有化し、施設全体をコンパクトに集約する。
- 7 稲築中学校区の地域コミュニティの拠点として地域住民が親しみ、集いやすい配置とする。

□ 校舎構成のイメージ図



稲築中学校区のゾーニング(案)

□ 稲築中学校区の階層の断面イメージ図

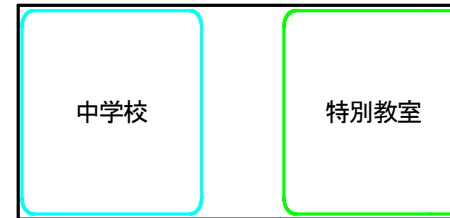


□ 稲築中学校区の各階平面イメージ図

〈各階ゾーニングの考え方〉

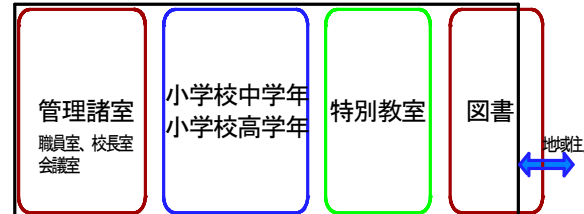
- 1 小学校、中学校が独立性を保ちつつ、学校・地域と連携しやすい構成とする。
- 2 小・中学校の交流、連携のための「交流スペース(ホール)」を小中一体型校舎の中心に配置し、共有可能な指導や特色ある教育活動を推進する。
- 3 小中一体型校への移行により、学校間の交流、連携をしやすいするため、施設全体をコンパクトに集約し、配置する。

構成する3階平面イメージ図



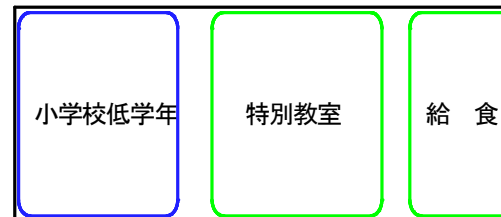
- ・理科室等中学校の使用頻度の高い特別教室は一部3階に配置
- ・特別教室は小学校・中学校の共有できる配置
- ・1単位時間数の違い(中学校50分、小学校45分)など運用面、管理面から階層により区分

構成する2階平面イメージ図



- ・1又は2階に小・中学校の交流が図れる多目的ホールの設置
- ・2階に小学校中学年・高学年を配置し、中学生を意識できる空間
- ・地域開放の観点から利便性の高い図書室の配置
- ・2階「通路」にて接続可能
- ・管理諸室は学校管理ゾーンと地域開放ゾーンの状況を確認できる配置
- ・職員室の共有、情報共有できる配置
- ・外国語等を身近に学べる教室配置

構成する1階平面イメージ図



- ・1階に特別教室を集約
- ・自校給食による車両搬出入を考慮し1階に配置
- ・1階に小学校低学年が専用庭で植物観察できる配置